

1 本校のESDの特徴

本校では、建部地区を持続可能な地域社会として構築していくために、自分たちの住んでいる地域の自然や人々とのかかわりを通して、地域のことや地域の人々のことをより深く知り、自分たちで地域の課題を見つけ、自分たちにできることを仲間と協力して取り組もうとする力を育てたいと考えている。

『地域とつながろう 絆プロジェクト』を合い言葉に、生活科や総合的な学習の時間を中心に、学年ごとに活動を進めてきた。

1, 2年生は自然（動・植物）、人、食材、3年生は食材、4年生は福祉、5年生は環境、6年生は文化遺産を中心に地域学習に取り組んでいる。

2 ネスコスクールとしての活動・全体計画

	学年のテーマ	内 容
1年	いきものとなかよし・ひととなかよし 5月～12月 30時間	身近な自然や生き物・人に関心を持ち、遊びや飼育、交流などの活動を通して親しみを持ち、大切に考えることができるようにする。
2年	大すき たけべ町 5月～12月 16時間	地域の人に教えてもらいながら、建部町を探検したり、野菜を育てたりする活動を通して、地域や食物に親しみを持ち、積極的にかかわることができるようにする。
3年	大豆パワーってすごいぞ 5月～2月 38時間	インタビュー、本による調べ学習や体験活動を通して、地域の人々の様子や食材について見付けたことを友達同士で伝え合って考えを深めるとともに、地域の一員として地域の伝統や文化を継承しようとする心をもつことができるようにする。
4年	バリアフリー建部 9月～2月 35時間	どんな人にとっても暮らしやすい社会にするための工夫について調べ、まとめ、発表していくことを通して、『バリアフリー』について考え、本当に暮らしやすい街づくりについて構想することができるようにする。
5年	建部の自然がつなぐ、わたしたちの絆 5月～2月 60時間	建部の自然のよさを感じ、自分たちのくらしと自然とのかかわりの大きさに気づき、自然を大切にしようという心情・態度を育てる。
6年	建部再探訪～建部町の昔・今のよさを再発見し、発信しよう～ 9月～12月 35時間	身近にある地域の文化、歴史、自然とその地域のものを守ろうとする人々とのかかわりについての探求的な学習を通して、そこにあるよい点や問題点を仲間とともに解決するとともに、様々な方法で発信していくことを通して、豊かな人間性を育む。

3 特徴的な活動事例の紹介 5年生の取り組み

『建部の自然がつなぐ、わたしたちの絆』 5年生（21人）

【目標】

- ・地域の川にかかわることにより、地域の自然環境に関心を持ち、その大切さを知る。
- ・地域の自然環境を保全しようとする意欲・価値観を育む。
- ・環境保全に取り組む実践力を高める。
- ・地域の自然環境から学び、課題解決に取り組む中で、コミュニケーション力と協同性を育てる。

【活動内容】

高学年では地域の自然環境についての現状と課題を把握し、さらに世界の環境問題についても考える。5年生では、地域（建部学区）を流れる田地子川の水質検査や水生生物の調査などを行い、地域の自然環境の現状と課題を把握する。後半には、視野を広げ日本や世界の環境などを調べていく。そして、地域の自然を持続可能なものにするため

に自分たちにできることを考え、実践する。

【実践の展開】

1 学期

- 学区の自然と自分との関わりについて考える。
- 田地子川から旭川、そして海へ
- 田地子川の散策
- 田地子川の探検 1 回目
水生生物調べ、水質検査

2 学期

- 田地子川の探検 2 回目
- 水辺の教室
講師：岡山市環境学習センター めだかの学校 高橋三穂先生 松本真明先生
- 川の教室
講師：国土交通省岡山河川事務所 清水信夫氏
- 旭川の上流や下流調べ

3 学期

- 日本の川や湖などの水環境調べ
- 絶滅危惧種や外来種の魚
- 世界の環境問題調べ
- 建部の自然を守るために
自分たちにできることを考え実践する。
川を守るポスター、めだかの学校紹介ポスター、旭川の魚ポスター
川あそび双六、環境問題カルタ、淡水魚カルタ

【成果と課題】

地域の田地子川をよく観察したり、実際に田地子川に入って川の様子や生き物を調べたりする活動に意欲的に取り組むことができた。さらに、川で生き物の種類や生態を調べたり、ゲストティーチャーから説明を受けたりしたことで、田地子川を含む旭川水系の魚種が日本でも有数な豊富さであることを知ることができた。予想していたよりも多くの生き物に出会った体験は、子どもたちにとって感動的なもので、家族ともう一度川に行って調べようとする児童たちがいた。また、旭川は昔に比べると、だんだん汚れてきているという問題や、川の役割、水害からくらしを守ることにしても学習することができた。

様々な活動を通して、子どもたちは、自分たちの身近にある川や自然を大切にしようという思いをもち、自然を守るために自分たちができることを考えることができた。これからは、自分たちの生活と地域から、さらに広い地域の環境を守っていこうとする思いをもってほしいと考える。

4 今年度の成果と課題

○どの学年も年間計画の中に地域の方々との連携・協力の体制や交流活動を積極的に組み込むことができた。そして、それぞれの学年が特色のある活動を行う中で、児童は、地域の人や自然に対してより関心をもち、理解を深め、課題をつかむことができた。

●課題解決に向けて取り組む実践的な態度をどのように育成していくかが課題である。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()